

タイ王国下水道公社の支援に行ってきました。

国際戦略室 今島祥治

1. はじめに

7月1日(日)～7月7日(土)の日程で、埼玉県下水道局、埼玉県下水道公社、埼玉県海外下水道推進協議会の皆様と、タイ王国下水道公社(WMA)の支援にご一緒させていただきました。この業務は、埼玉県が実施するJICAの「草の根技術協力事業」によるものです。現在の草の根技術協力事業は第2期目で、今年度が最終年度となっています。今回の出張のミッションの一つは、第2回民間技術セミナーの開催等です。本稿では、バンコク郊外のラマガーデンホテルで開催された第2回技術セミナーなどについてご報告します。

2. 第2回技術セミナーについて

タイ王国における技術セミナーの目的は、「タイ政府及び地方公共団体職員への下水道普及促進に関する啓発」と「日本の民間企業とタイ王国の地方公共団体とのビジネスマッチング」です。その中で、今回は、タイ王国の国策でもある「再生水事業」を、テーマとして選択しました。

当初、WMA側からの講演と日本側からの講演の双方のはずでしたが、WMAの所管が天然資源環境省から内務省に移管されることが決まり、WMAとしての施策を発表しにくいということで、日本側からだけのプレゼンテーションとディスカッションという構成をとることとなりました。

今回のプレゼンテーションの概要は以下のとおりです。

(1) 埼玉県からの発表：プロジェクトフレームワークと埼玉県下水道普及

- ・ 埼玉県下水道普及促進には、埼玉県下水道公社やJSの技術者集団の役割は大きい。
- ・ WMAもタイにおける下水道普及促進に貢献するものと期待している。
- ・ 日本においては官民の連携が下水道普及促進に寄与した。

(2) JSからの発表：再生水事業の概要

- ・ 再生水事業の背景 (SDGs、ISO/TC 282)
- ・ 日本の再生水事業の現状と課題 (日本の現状、ビジョン2100、補助制度)
- ・ 事例紹介 (さいたま市、堺市、多度津町の例)
- ・ 今後の課題と取り組み

(3) 埼玉県海外下水道推進協議会からの発表

- ・ 前澤工業：下水処理水の工業用水利用 (工業用水のプライス設定等)
- ・ 埼玉県コンサルタント技術研修協会：再生水の実現化に向けて (計画・設計等)
- ・ 埼玉県維持管理業協会：安定的な処理について



JSからの講演(筆者)



質問をする聴講者

講演の後 Q&A セッションに入りましたが、再生水についての質問のみならず、日々の業務で各地方公共団体が困っていることについても、いくつか質問が上がってきました。

「雨が降ると海に黒い水が放流されることがあるが防止策はあるか」、「OD 法の放流水質をより改善する方法はあるか」等、まだまだ、日々の業務の悩みが尽きない状況のようでした。

3. 第3回技術セミナーに向けて

今回の再生水事業については、思った以上にタイ王国側の反応があり、セミナーの際に取ったアンケートにも「期待通りだった」とか「有益であった」、「このセミナーで再生水に興味を持った」という回答をいただいた。次回のセミナーは11月6日に開催される予定ですが、次回も再生水を軸に、F/S を実施するにあたり各プレーヤーがどのような役割をもって、どのように F/S 事業を進めていくのか等まで、より具体的にチーム埼玉で検討中です。また、来年度以降の WMA との関係継続策についても検討しています。

4. その他 (今回 撮った写真たち)



シラチャ処理場の反応槽の脇に備え付けられた安全器具 (前回まではありませんでした。)



WMA 作成の児童向けの下水道普及啓発パンフレット (WMA は子供の啓発活動に力を入れているそうです。)



新旧国王の肖像が描かれた新旧の 100 バーツ札 (新国王の肖像画が街の中でもチラホラ見られるようになりました。)



出張中 (セミナー直前) に風邪をひき、バンコクの薬屋で購入 (抗生物質だそうです。)